

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

最終改訂年月 : 31 January 2002

背景: 腰部椎間板手術後の患者に仕事への復帰について指導することを目的としたリハビリテーションプログラム、健康法プログラム、あるいはプロトコルがいくつか示唆されているものの、こうした治療法の有効性と効果についてはほとんど知られていない。今なお、再損傷、ヘルニアの再発、不安定性の点で不安が残っている。

目的: 本システムティック・レビューの目的は、初回腰部椎間板手術後のリハビリテーションに用いられている能動的治療法の有効性について評価することであった。

検索戦略: 2000年4月までのMEDLINE、EMBASE、PsycLITの各データベース、およびCochrane Controlled Trials Register2001年3号を検索した。

選択基準: 初回腰部椎間板手術後のあらゆる種類の能動的リハビリテーションプログラムに関するランダム化比較試験ならびに非ランダム化比較試験を登録した。

データ収集分析: 2名のレビューアが独立に試験を登録し、別の2名のレビューアが独立に研究の質を評価した。4レベルの科学的エビデンスからなる評価システムにより、結果を要約する。

主な結果: 13件の試験を登録したが、このうち6件の質が高かった。手術直後に開始した治療法の有効性については、いずれも強力なエビデンスがないが、主な原因は(質の高い)試験が不足していることである。術後4~6週目に治療を開始した場合、機能状態と仕事への速やかな復帰(短期間の追跡)の観点から集中的運動プログラムの方が軽度運動プログラムよりも効果が高いことを示す強力なエビデンス(レベル1)が得られており、長期間の追跡では、全般的改善の観点から集中的運動プログラムと軽度運動プログラムとの差が認められないことを示す強力なエビデンス(レベル1)がある。集中的運動プログラムと軽度運動プログラムを比較したその他全ての主要評価項目では、長期間の追跡という観点から矛盾するエビデンス(レベル3)が得られている。また、在宅トレーニングとの比較で見た監督下でのトレーニングの有効性については、強力なエビデンスがない。通常のケアとの比較で見た集学的リハビリテーションの有効性についても、強力なエビデンスがない。就労者での仕事への復帰を目的とした治療は、仕事への復帰という観点から通常のケアと比較して効果が高いことを示す、限定的なエビデンス(レベル3)がある。また、術後12ヶ月経過以降に開始するローテク運動とハイテク運動は、物理療法、関節徒手整復、または治療をしない群と比較して、腰痛の機能状態改善の観点から効果が高いことを示す限定的なエビデンス(レベル3)がある。最後に、運動プログラムに特定の介入を追加した場合の有効性に関しては、手術直後と後期のいずれに運動プログラムを開始した場合でも、有効性の強力なエビデンスはない。調査したいずれの治療法も、ヘルニアの再発または再手術に関しては有害ではないと思われる。

レビューア見解: 初回腰部椎間板手術後の患者は活動を制限する必要があるとのエビデンスはない。機能状態および仕事への速やかな復帰に対する短期間での集中的運動プログラム(少なくとも術後約4~6週目に開始した場合)については強力なエビデンスがあり、これによって再手術率が上昇するとのエビデンスはない。術後に実施すべきリハビリテーションの正確な内容は不明である。さらに、能動的リハビリテーションプログラムを手術直後と4~6週目のいずれに開始すべきであるのかについて調査する試験は実施されていない。

Citation: Ostelo RWJG, de Vet HCW, Waddell G, Kerckhoffs MR, Leffers P, van Tulder MW. Rehabilitation after lumbar disc surgery. The Cochrane Database of Systematic Reviews 2002, Issue 2. Art. No.: CD003007. DOI: 10.1002/14651858.CD003007.

Clib issue No.: 2005 issue 4

CRG名: Back

* ご注意: この日本語訳は、試験的翻訳(Draft翻訳)版として公開するものであり、翻訳の正確さや質が保証されたものではありません。

Copyright(c) All rights reserved by Minds, Japan Council for Quality Health Care
ません。訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡下さい。また、この試験的翻訳版はコクラン・ライブラリ2005年issue 4に掲載されたレビュー・アブストラクトの翻訳です。コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されていますので、ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認下さい。